

令和3年度伊勢原市行財政改革推進委員会第2回会議録

〔事務局〕 企画部経営企画課

〔開催日時〕 令和4年3月1日（火）午後3時00分から午後4時10分まで

〔開催場所〕 伊勢原市役所2階 2C会議室

〔出席委員〕 7名

鈴木靖夫（会長）

青柳貞徳（副会長）

大川 要

大杉 あや子

河原 啓子

中村 隆志

引田 道人

〔事務局職員〕 10名

山室好正（企画部長）

酒井哲也（企画部行政経営担当部長）

桐生尚直（企画部参事兼公共施設マネジメント課長）

畠山純徳（公共施設マネジメント課主幹兼係長）

成田勝也（企画部参事兼経営企画課長）

山口博巳（経営企画課主幹兼係長）

都竹新平（経営企画課主査）

宮嶋俊道（総務部参事兼情報政策課長）

小堤雅弘（情報政策課係長）

大場康司（情報政策課主任主事）

〔公開可否〕 公開

〔傍聴者数〕 なし

《議事の経過》

1 議題

- (1) 公共施設等総合管理計画の令和3年度一部見直しについて

- (2) 令和3年度公共施設老朽化状況調査の結果（概要）について
 - ① 公共施設老朽化状況調査の結果（概要）について
 - ② 市民文化会館現況調査の結果（概要）について

- (3) 本市におけるDX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進について

2 その他

※質疑応答・意見等は別紙1のとおり

1 議題

(1) 公共施設等総合管理計画の令和3年度一部見直しについて

[質 問]

[回 答]

①	公共施設等総合管理計画の令和3年度一部見直しの中で、公共施設の将来更新経費の機械的な試算がされているが、建設から相当期間経過した施設もあり、本市の予算状況を踏まえ、実際どのように更新等をしていくのか。	令和4年度に、公共施設等総合管理計画の見直しと合わせて、施設の老朽化や機能面等を勘案して優先度を考え、今後10年間における機能集約等を含めた施設の再配置や更新等の計画を策定する予定である。
②	今後本市の人口は減少していき、税収も減っていくと思われるが、公共施設の将来更新経費の試算において、そうした条件は加味しているか。	今回の公共施設の将来更新経費の試算には、人口減少の影響は加味していないが、伊勢原市の将来人口に見合った施設のあり方や機能については、引き続き検討を進めていく。

(2) 令和3年度公共施設老朽化状況調査の結果（概要）について

- ・ 公共施設老朽化状況調査の結果（概要）について
- ・ 市民文化会館現況調査の結果（概要）について

[質 問]

[回 答]

①	[公共施設老朽化状況調査の結果(概要)について] 今回の公共施設老朽化状況調査の結果を見て、屋根や外壁がここまで老朽化していることに驚いた。定期的なメンテナンスや補修を行っていれば、このような状況にはなっていなかったのではないか。	施設所管課が施設の状況に応じて予算要求して修繕等の対応を図っており、令和元年度からは施設所管課による自主点検を行っているが、今回の結果を見ると、定期的な施設点検・メンテナンスが十分行き届いていなかったと感じており、反省している。
②	[市民文化会館現況調査の結果（概要）について] 市民文化会館の建築費は資料に記載があるが、補修等を含めた維持管理経費は、累計でどのくらいの金額か。 建築費に対しどの程度の割合の金額が維持管理経費として毎年度かかっているかの実績を把握することは、今後施設を建てる際にも重要なデータとなる。	次回会議までに整理してお示しする。

[意 見]

・ 施設の劣化と補修はくり返しとなり、全体的に老朽化が著しい調査結果が出たことについては、ある程度は仕方ないと考える。

今回実施した調査は、施設を管理していく上で非常に重要である。

ただし、調査実施期間が2週間不足であり、28施設を調査するには短すぎると感じる。老朽化対策を含め、もっと徹底した調査を行うべきではないか。今回だけではなく、

引き続き必要な調査を行い、効果的な対策に繋げてもらいたい。

・市の財政が厳しい中で、多額の維持管理経費のかかる市民文化会館を今後も引き続き保有していけるのか。複数の市で1つの文化会館を広域利用するなど、コストを下げるために他の手法についても検討を進めるべきである。

・公共施設マネジメントの取組を進めていく上で、SDGs やカーボンニュートラルの視点も必要と考える。

(3) 本市における DX (デジタル・トランスフォーメーション) の推進について

①	RPA を導入することにより、職員数を削減できるのか。	定例的な業務を RPA に置き換えることで、職員の作業時間が短縮され業務負担が軽減されることに加え、企画立案など他の業務に注力することが可能となる。 人口減少社会において今後職員数が減少する場合の業務見直しのためにも効果はあると考えているが、職員数を減らすことが導入の直接的な目的では無い。
---	-----------------------------	--

以 上